

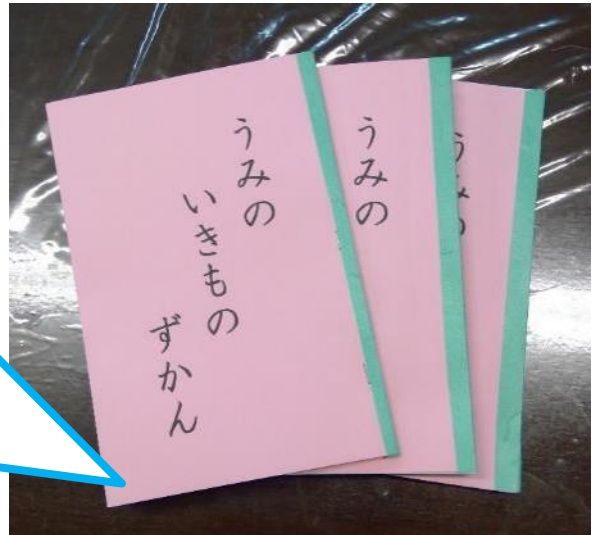
# 系統性を意識した指導

## 国語科のねらいに応じた各学年の言語活動を作成する

### 1年生 国語科「うみのかくれんぼ」（説明的文章）

1年生の国語科「うみのかくれんぼ」では、言語活動としてクラスごとに「うみのいきものずかん」を作るという活動を設定した。

教材文の読みでは、事柄の順序に気を付けて読み、何が書かれているか読むこと、図鑑を書く際には、文のまとめや文末表現に気を付けながら文章を書くことと、自分が書いた文章を読み返して直すことをねらいとした。



## 6年間の系統立てた言語活動を作成する

### 言語活動部会のまとめ

### 言語活動の特徴と教材一覧

### 言語活動の系統性・実践例

## 導入で本時の内容に沿った既習事項の振り返りを行う

### 3年生・4年生・5年生・6年生 算数少人数

新しい単元の導入で、前学年の内容を含めた問題を数問出題し、既習事項を確認してから本時の内容へ入る手立てを取った。

結果として、

- ① 既習事項の確認を通して内容の理解が深まった。
- ② 自力解決の際、既習の解き方を使おうと解決の見通しをもてる児童が増えた。
- ③ 解くことができるという実感をもつことで、学習に対する意欲の向上が見られた。

## 児童の発達段階に合わせた授業構成を工夫する

### 4年生 図画工作科「グラグラタワー」

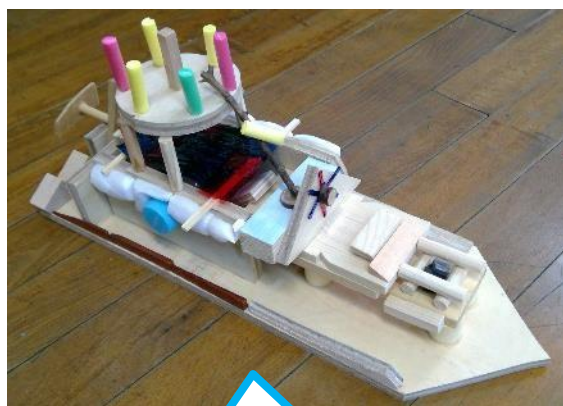
4年生の「グラグラタワー」では、グラグラしないタワーをつくる方法を考える時間を設定した。

木切れの積み上げ方の工夫、接着方法（パーツでつくる・ボンドが乾くまでは他の作業をするなど）を児童が体験しながら見付け、木工の基本的な技能を全体で共有した。

また、多様な形の木切れや他の材料の組み合わせからイメージをもち制作を行えるようにした。



### 5年生 図画工作科「希望の船」



### 6年生 図画工作科「MY CHAIR」



5・6年生の「希望の船」「MY CHAIR」では、電動糸鋸・金槌などの用具を使った。木切れを作り、木切れの組み合わせの効果や構成を追求することで、イメージした形を表現できるようにした。